

ハイデオ サービスチップス



株式会社ゲン・コーポレーション

〒501-1132 岐阜市折立 296-1 Tel(058)234-0666 Fax(058)234-0892

e-mail: info@ghen.co.jp https://www.ghen.co.jp

No. 169

令和4年1月21日

採卵鶏における脱肛の予防について

本稿は、ローマン ブリーダーズ社から発行している『TOOL BOX－PROLAPSE IN LAYERS PREVENTION AND TREATMENT』を日本の実情に合わせて編集したものである。本稿の内容は、採卵鶏の種鶏や商業鶏において、減耗の要因の一つとなる脱肛に関して、その発生の背景や潜在的な原因及び発生時の対応について紹介している。飼養管理の一助となれば幸いである。

はじめに

脱肛は飼養管理の上で最も一般的な懸念材料の一つである。鶏が産卵する過程で、総排泄腔等の粘膜が一時的に裏返しになるが、その裏返しになった総排泄腔等の粘膜が産卵後に戻らない場合があり、この状態を脱肛と呼ぶ。他の鶏が脱肛している鶏を見つけると、湿って光沢のある粘膜に引き付けられ、つき行動の増加に繋がることがある。脱肛の発生の兆候として、表面に血液が付着した卵が現れることであり、そのような卵を早期発見し、直ぐに対処することで更なる被害を防ぐことができるだろう。



脱肛の原因

脱肛が最も発生しやすい条件は次のとおりである。

✓ 産卵開始前2週間（プリレイ期）の誤った飼養管理や栄養の変更

プリレイヤー飼料の給与が早すぎたり、プリレイヤー飼料から成鶏飼料への変更が遅すぎたり、誤った点灯管理等による不適切な時期に産卵を開始することで脱肛が発生しやすくなる。

✓ 過体重または低体重の鶏

過体重の鶏は、総じて筋力が弱く、大きい卵を産む傾向があるため、結果として脱肛になりやすい。さらに輸卵管周辺に過剰な脂肪が付くことにより脱肛は発生しやすくなる。（低体重に関してはその他の潜在的な原因を参照）

✓ 鶏齢

産卵及び卵量のピーク期は、引続き体重や卵重が増加する時期であり、栄養要求量も非常に高いため、脱肛の発生が多くなることもある。

✓ カルシウムの不足

カルシウムは正常な筋収縮にとって重要であり、飼料中のカルシウムが不足すると、卵殻形成に問題が生じるとともに筋肉の収縮力も低下する。筋力が弱くなると総排泄腔等が体内に戻りにくくなり、総排泄腔等が露出する時間が長くなる可能性がある。

✓ 二黄卵の産卵

二黄卵は極端に大きいため、総排泄腔の筋肉が伸びて弱くなる可能性がある。

✓ 照度が高い

鶏舎内の照度が高いと、他の鶏が体外に露出した粘膜を見つけやすくなり、それに引き付けられる可能性が高くなる。

その他の潜在的な原因

✓ 採卵鶏における脱肛の潜在的な原因は、一般的に中すう及び大すう期における骨盤の未発達である。通常、育成体重が小さいと骨盤の発達は良くない。したがって、育成期間（特に 4～8 週齢）の体重を目標体重以上にすることが重要である。

✓ 必要以上のエネルギーの配合や飼料中の脂肪含有量が高すぎると、腹部に脂肪が多く蓄積し、卵の通り道が狭くなり、産卵するときに鶏がより力むため、脱肛のリスクも高くなる。



脱肛の予防方法

脱肛を予防するためのポイントは、上記に挙げた潜在的な原因を含むすべての原因を除去する適切な飼養管理が必要である。また早期発見と迅速な対応は、脱肛の影響を最小限に抑えるための鍵になる。

脱肛の問題が明らかな場合、減耗率の増加が脱肛自体によるものと考えがちだが、脱肛自体による減耗ではなく、反転し露出した総排泄腔等の粘膜が他の鶏につつかれることによる出血や腸の損傷が直接的な原因である可能性が高い。

多くの場合、脱肛発生の兆候の一つとして、血液が付着した卵の増加がある。血液が付着した卵を目安にして、早期に脱肛の影響を軽減し、更なる健康上の問題を防ぐ飼養管理を実施するとよい。

飼養管理上の注意点



点灯刺激の開始は飼養管理ガイドに記載されている推奨体重と鶏齢に到達した際に実施すべきである。これは鶏種によって異なるが、一般的には 17～18 週齢くらいである。



産卵を維持し、体重を推奨レベルに維持するには、バランスの取れた飼料が必要である。



鶏は人よりも光に対して敏感である。鶏舎内の光の強さが飼養管理ガイドの推奨するレベルであることを確認する。鶏舎内の照度が高い場合、外から光が入るのであれば遮光ネットを設置し、電球のワット数が高いのであれば低いものに交換することを検討する。



鶏群や卵をよく観察することは、望ましくない尻ツツキの行動を、深刻な問題になる前に見つけられる。



平飼いの場合、鶏が必要以上に長くネストに留まると、尻ツツキ行動のリスクが高まる可能性がある。

脱肛が発生した場合の被害低減のヒント

- ✓ 照度は、開放鶏舎では最大 40 ルクス、光線管理が可能なウインドウレス鶏舎では 20～30 ルクス以上にしない。
- ✓ 大すう期に飼料の ME レベルを要求量の下限にする。
- ✓ 朝の時間帯にビタミン C を飲水投与すると被害が低減することがある。

まとめ

脱肛は様々な要因によって引き起こされるが、引き金となるポイントを理解すると脱肛の発生を防ぐことができる。

脱肛には効果的な治療法はないため、予防が最善のコントロール方法である。

参考文献

Dr. Rajesh Kumar Singh, JAMSHEDPUR, JHARKHAND, INDIA, 9431309542, rajeshsinghvet@gmail.com - July 11, 2019

Dr. Jacquie Jacob, University of Kentucky; eXtension

Dr. Martin Zuidhof, University of Alberta, Edmomton - July 18, 2002